



# どりーまあ通信

● 第30号 2016年 7月発行 ●

特定非営利活動法人 どりーま あ サービス

TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035

## 主な紙面

- 住サ連
- ケアマネ協会
- 体操教室
- 熊本地震災害支援
- レスポワールII

- 2
- 3
- 5
- 6
- 14

## 『年輪経営』 ～成長の段階を考える～



理事長

山口 浩志

28年度診療報酬改定が始まりました。今改定は、「救急」と「在宅」がキーワードでした。しかし、その矢先に消費増税延期があり、社会保障制度や財政の健全化にかげりが見えかくれし、改革のギアチェンジは必至です。

2025年問題に向けて、2018年同時改定にまつぐらの中、医療介護経営のあるべき姿をさがしながら探し続ける毎日です。

ところで、日本には200年以上続く企業が3125社あると聞きます。例えば、明治18年創業の田中貴金属工業は、今は携帯電話のバイブ機能等、超精密貴金属加工にかかわっているそうです。130年続く老舗企業が、最先端技術で世界で果敢に挑戦しています。

ベンチャーのうち、起業5年後に5割が消えるといわれていますが、老舗企業といえども様々な荒波を乗り越えてこそ、今があると思います。

従って、私たちも介護事業者としての本質を見失うことなく、長期的視野でこれからの道を切り拓いていかねばなりません。

皆様方からの変わらぬご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

若葉青葉の候、皆様におかれましては、ますますご活躍のことと思います。

平成12(2000)年に介護保険制度が施行されて16年が経過しようとしています。介護保険制度がこれだけ国民に周知され、身近なものになった背景には、我々介護支援専門員の存在が大きいのと思います。一方、その役割を担い、果たしてほしいという社会からの強い期待からも医療と介護の連携、自立(自律)公正中立なケアマネジメント、総合的で効果的なサービスの提供など、課題として呈されており、介護支援専門員をめぐる情勢は厳しいものがあります。

ケアマネジメントの重要性が誰からも再認識される中で介護支援専門員には、利用者にとっての真の自立(自律)を支援する役割が求められ「介護保険制度の要」から「地域のマネジメントの要」へと、その役割期待が更に大きくなっていると思

## 成果を めざして



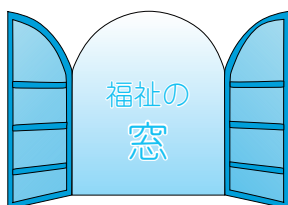
一般社団法人  
山梨県介護支援専門員協会  
会長 鷲見よしみ

います。

平成30年同時改定に向けてこれらを総合的に議論する審議会等がすでに始まっています。ケアマネジメントならびに介護支援専門員のあり方も大きな転機を迎え、今年度、新たな研修体系による研修がスタートし、その成果を出しながら、私たち介護支援専門員自身からも今後のあり方について意見集約し、発信していく必要があると言えます。

今年度、活躍できる人材育成を中心として事業、研修を展開し、誰もが参加を実感できる協会をめざします。質の向上と地位の向上に関する活動を通じて、だれもが安心して暮らせる地域をめざして、利用者の望む暮らしの実現を図りましょう。

日頃のご支援に心より感謝申し上げます。



# ～とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会～

## 牟岐町

27年12月3日（木）  
於：海の総合文化センター

徳島文理大学の古川明美先生による「地域福祉の基本」の講義のあと、地元NPO活動で活躍の、〃出逢い〃の小西陽子様の事例発表が

本講座の皮切りに、最南端からのスタートとなりましたが、会場は60名近くの参加者の熱気でいっぱいでした。地元民生委員さんや、介護専門職、地域の方等、多岐にわたる方々の参加がありました。

## ささえあい 担い手養成講座

県行政からご支援いただいた基金事業として、27年度は「支えあい担い手養成講座」を県内10ヶ町村にて各市町村社協さんとの共催で開催いたしました。プログラムとしては、(1)地域コミュニティづくりについての講義、(2)NPO実践活動報告、(3)グループワーク、といった内容でした。

特にグループワークでは、それぞれに活発な意見が交わされ、地域の潜在力を感じることができ、大きな成果がありました。

## 自分にもできることがありました



ありました。グループワークでは、参加者たちから、「こういう機会を待っていた。」「話し合っているうちに、自分にもできることがあることがわかった。」など、次のステップの可能性を感じる声がたくさん出ていました。

## 阿波市

28年2月14日（日）  
於：市場総合福祉センター



## 社協にエールの声が続出!!

## 人を活かして

## 元気な地域にしたい

休日にもかかわらず、地域の役員さんや住民の方々、約70名の参加がありました。神戸学院大学総合リハビリテーション学部の藤井博志先生からの、地域コミュニティワークの基本についてのご講義があり、その後8つのグループに分かれたグループワークをしました。ここでも、「地域で今、何が問題か」、「誰が担っていくのか」、など具体的な話し合いとなり、充実したセミナーとなりました。

以前から、社協のボランティア講座や、サロン活動の活発なまちだけに、主催側としても興味深い地域のひとつでした。民生委員や老人会員、自治会役員など、約90名の参加がありました。ここでは、地域福祉計画策定の真ただ中の時期ということもあり、本講座をきっかけに、これまで気づかなかった課題が見つかったり、住民同士の支え合いの強さを知ることができ、今後の新たな計画策定の足がかりとなったようです。

## 那賀町

28年1月30日（土）  
於：那賀町開発センター





武久理事長（現最高顧問）からの  
熱いメッセージに参加者全員耳を傾ける

毎年四国内で行われている「四国ブロック大会」です。これまでと違う面として、27年度は、28年度設立予定（28年5月設立）であった愛媛県の中心メンバーの方たちもご参加いただき、初めての四国4県が結集した記念すべき研修会となりました。

# 徳島県 介護支援 専門員協会

ケアマネの原点を知る!!

## 「27年度 四国ブロック研修会in徳島」

四国4県から約200名結集!!

～27年12月13日（於）アスティとくしま～

### 記念講演

午前は、香川県支部会長の大原昌樹先生を座長とし、日本慢性期協会会長・徳島県介護支援専門員協会理事長（28年度より徳島県支部最高顧問及び日本介護支援専門員協会常任理事）である武久洋三先生による、「地域包括ケアシステムと医療・介護の連携」をテーマとし記念講演がありました。

武久先生からは、ケアマネとしての基本を忘れず、かつ柔軟なケアマネジメンに育たなければならぬ、と力強いメッセージに、会場の参加者たちも、一言一言に聞き入っていました。

## 認知症ケアマネジメント

### 事例研究発表



四国4県からの事例発表者

午後からは、日本介護支援専門員協会常任理事である、吉良厚子先生による「認知症高齢者へのケアマネジメント」という題での講演と、四国4県から1題ずつ事例発表がありました。

全体を通して、県内での研修とは違った雰囲気での研修会で、お互いに刺激し合えた1日になったかと思えました。

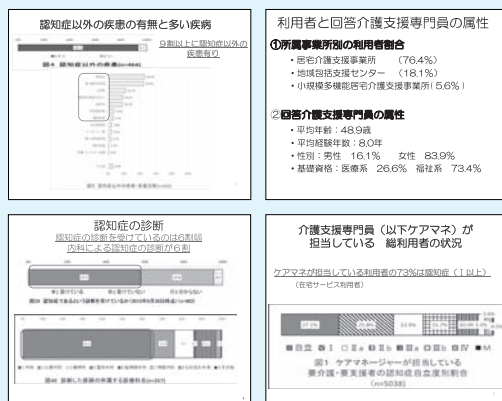
## 徳島県委託

### 認知症ケアパス 普及事業

27年度の県長寿いきがい課様からの委託事業として取り組みました。

県内の居宅事業所や地域包括支援センター、小規模多機能等で働くケアマネージャー160名に対し、1人3名の認知症利用者に関するアンケート調査事業です。

### 一部抜粋



詳細につきましては、報告書を近々、事業所等に配布する予定です。



# 人 出会い 人 ふれあい 人 ざざえあい 人

が8年前。専門職として福祉施設で働いた経験を活かし、これからはボランティアで社会貢献したいと思い始めたということです。

「やりがいを感じます」



「専門職経験を活かしたい」

どおりまあが運営する、沖洲の高齢者住宅入居者の宮本千代子さんからは、「初めてお会いした時から、自分の気持ちをわかってくれる人」と好印象だったようです。

大木さんとしても、人生の先輩である人達からは、自分の将来像を考えさせてもらえて、勉強になっています、と言われます。



小春日和に散歩の付き添い



サロンボランティア天野さんより  
朗読「日本一短い母への手紙」

この日は、サロンボランティアの天野さんから、「日本一短い母への手紙」を朗読されたり、塗り絵をして、「癒しの空間」がもてたひとときであったようです。

毎回5名〜8名の参加で運営しております。

ここは、誰からの指示があるわけではなく、誰が責任者というのでもない家庭の延長のような場所です。その日その日で主役が代わり、講師役もその日によって代わる。いわば、参加者皆さんが主役のような空間です。

ここが居場所



参加者みんなが主役  
一癒しの空間一



くらしのサポート



# 体操教室

## 徳島市元気高齢者づくり事業



永年参加者へ表彰状

昼食を一緒に  
いただきな  
ら、10年の歴史  
を振り返り、ま  
た今後の更なる  
発展を目指して  
いきたいと、ス  
タッフたちも心  
新たに感じる一  
日でした。

### 10周年イベント特集

#### 内町教室

27年12月14日に、いつもの体操教室終了後、コミセン研修室にて開催されました。  
原田館長様よりご祝辞を賜り、またどりーまあからは、代表して山口理事長よりコミセン関係者各位及び参加者の皆様に對しまして、改めて感謝を述べさせていただきます。

平成17年より徳島市・徳島大学、地域コミセン・NPOの協働事業で取り組み始めた本事業です。27年度で10周年を迎える3教室で、それぞれ節目をお祝いするイベントが開催されました。

### 「意志あるところに道は開ける」

#### 沖洲教室

28年3月24日に、開催されました。ここでは、午後のクラスそれぞれで式典を開催し、地区社協会長である三栖谷様より、参加者の皆様や体操教室スタッフたちへ、10年継続してきたことに対して高いご評価をいただきました。  
また、三浦先生によるご講演もあり、参加者の人たちと共に、どりーまあのスタッフからも感激のひとつとなり、こちらも次への力強い一歩へと進む決意がもてたようです。

#### 南井上教室

28年12月22日に、某ホテルにて記念式典が開催されました。体操教室を始めた頃は、週2回(火・金)の午前に開催していましたが、参加人数が多くなり、3年前から午後の教室を設けることになりました。



10年の歴史に感動の集合写真

またこの地区では、毎年開催される徳島市老人会連合会(略：市老連)主催の運動会などでは、優勝常連地区だそうで、結束力は大したものですね。  
体操指導員の吉永さんは、これからも閉じこもり防止や体力づくりのためにも、参加したいと思ってもらえるような教室を目指しておられるようです。

これから生き生きと  
輝ける人生を歩みたい

#### 「継続は力なり」

徳島大学 大学院総合科学研究部 教授 三浦 哉

体操教室10周年おめでとうございます。本事業に立ち上げ当初から関わらせてもらっていますので、私自身も10年。感慨深いです。

高齢の方にとって、体力を維持することが大切で、何もしてなければ体力はどんどん低下していきます。

しかし、体操教室の参加者を対象に体力測定の結果によると、体操教室の参加者は5年前また10年前比較しても体力は変わりません。また、体力面だけでなく、外出し、参加者同士でお喋りをする事は、精神面にも良い影響があります。

体操教室の意義を理解していただき、今後益々利用される方が増えることを期待しています。



三浦先生からのご講演に心新たに

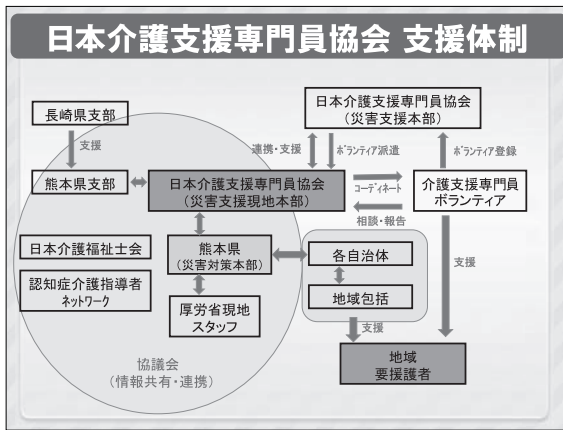
仲間がいたから  
続けてこれた

## 熊本地震支援活動報告

4月14日に発災した

熊本地震に対して、日本介護支援専門員協会よりボランティアにて山口理事長が、5月3日～5月5日まで活動に参加してまいりましたので、ご報告いたします。

今回の活動を通して、災害時における地域包括支援センターの役割や、介護支援専門員に求められる活動など、多くのことが学べ、得難い財産となりました。



## 御船町（5月3日）

災害後、体育館や福祉避難所で生活されるご高齢者の方々からの、介護申請が一時的に殺到しており、地域包括支援センターの方のサポートで、認定調査にあたりました。

調査を通して、被災されて不自由な生活を強いられながらも、懸命に生きる姿勢や、ご家族の絆を感じることが多く、心うたれる場面が多くありました。

## 西原村（5月4日～5日）

約400軒あまりの住宅地を、ボランティアスタッフが二人一組となり、一日3～4組が、個別訪問し、



住民からの聞き取りで課題発見



夜は車中泊又はテントで過ごす方たち

行政が準備してくれた給水タンクに水をもらいに行くことができないご高齢者やお体のご不自由な方たちに対して、朝夕と交代で水を運ぶという、たすけあい活動が実践されており、地域の力の大切さを強く感じました。

震災後、生活面で困っていることは何かを聞き取りする、地域アセスメント活動を行いました。地域全体を通して、水不足があり、ライフラインの欠落が、何よりものの問題となっていました。



体育館での避難所生活

## 考察

①生活の要望を全て応えることは困難であるが、状況に応じて優先順位をつけ、支援体制を整えることが大切である。

②地元で被災者の人たちを支援している専門職自身も、被災者であるため、そういう人たちを支援することこそが、県外からの専門職ボランティアの役割である。

③避難所の中にはいろいろな専門職ボランティアが入っているのですが、避難所生活での個々の問題を分析し、どういう専門職につなげるか、というコーディネーター役が、ケアマネボランティアに求められているのかもしれない。



活動後、地域包括支援センターにて報告会



## 「自分らしい暮らし」を支える

そこで、私たち訪問看護師としてもつべき基本的な視点として、病床の「機能分化・連携」や「かかりつけ医機能」の充実を見据えつつ、「イノベーション」と「アウトカム」等を重視していかねばならない事。そしてその上で、地域で暮らす利用者様を中心とした、質が高く効率的な看護の実現を目指す必要があるということでした。

今後重度障がいをもって、住み慣れた地域で、人生の最後まで自分らしい暮らしができるように、訪問看護師として、新たな挑戦にもいとわず、私たちに求められる役割に対して、これからも積極的にかかわっていききたいと思いました。

**開催日** 平成28年3月19日  
**場 所** 大阪マーチャンダイズ  
 マート会議室  
**主 催** 日本訪問看護財団

# 研修 レポート

## 診療報酬改定セミナー



児島 恭子

まず、診療報酬改定の概要として、2025年に向けて、地域包括ケアシステムと、効果的・効率的で質の高い医療提供体制の構築を図り、地域包括システムの推進と医療機能分化・強化・連携に関する充実などに取り組む、という方向性で進めています。

## 「イノベーション」と「アウトカム」が重要

## レクリエーションセミナー

## 「楽しいレクのためのチームワーク」 ～コミュニケーション能力の向上に向けて～



川西 由紀

この度の研修では、レクリエーションを始めるにあたって、コミュニケーション能力の向上に向けたチームワークが大切なことを学びました。

内容としては、まず介護レベルに合わせたレクを実践で教わりました。例えば、手足や体幹など体全体を使つての遊びや、音楽に合わせて体操したりと、楽しみながらできるプログラムが大切であることを知りました。

レクリエーションの基本としては、ひとり一人に合わせた内容を考えていくためにも、残存機能を引き出したリ、できたことを誉めてさしあげること等、研修を通してレクリエーションの奥深さを学び、これからの実践でぜひ活かしていきたいと思います。

**開催日** 平成27年11月22日  
**場 所** 徳島市生涯福祉センター

## 介護レベルに合わせた集団体操 ～音楽に合わせてたり楽器を活用～

いきいき体操でマンネリ化を打破



ステージ

スローガン  
～地域とつながる～



ダンススタジオの美女たちに会場もうっとり

華やかなステージに  
うっとり

ボランティア友の会  
ひまわり様からの歌や  
踊りで明るくさわやか  
に始まりました。続い  
ては、瀬戸内美八先生  
率いる、ダンススタジ  
オひまわりの皆様によ  
りますダイナミックで  
華やかな踊りがあり、  
会場を盛り上げていた  
でした。



各地で「元気」を送る  
ボランティアの有志たち

ゆるキャラ&力士に  
会場も大にぎわい



子供たちから大人気のゆるキャラ君たち

～地域とつながる～  
**どりーまあ秋祭り**  
平成27年 **10月17日 土曜日**  
14時～16時

**ステージ**  
・ダンススタジオひまわり  
・ボランティア友の会  
「ひまわり」

**遊び**  
・金魚すくい  
・風船ヨーヨー釣り  
・スーパーボールすくい  
・輪投げ

**おたのしみ  
抽選会**  
記念撮影会  
ゆるキャラがやって来る！

**出羽海部屋の  
お相撲さん登場**  
記念撮影会&握手会  
質問タイムもあるよ

会場 どりーまあサービス 沖洲事業所  
徳島市北沖洲4丁目14番38 088-678-8161

金魚すくいやヨーヨー釣り、輪投げなど  
の遊びコーナーは、子供たちからの人気  
コーナーです。  
大人も一緒となり、笑顔いっぱい空間  
となりました。



金魚すくいコーナーは毎年大人気😊

ご家族も一緒に楽しめました

県内のゆる  
キャラたちと出  
羽海部屋の力士  
さんが参加さ  
れ、会場をこ  
ろせましと動  
かれ、写真撮影が  
絶えません。  
お相撲さん  
は、明徳義塾高  
校出身で、イン  
ターハイでは優  
勝されたそう  
で、高知県出身  
だそうで、今後  
もぜひ応援して  
いきたいと思  
いました。早いご  
昇進を願って  
います。

ゆるキャラ  
&  
相撲力士



お相撲さんとハイチーズ♡

第3回  
どりーまあ  
秋まつり

さわやかな秋晴  
れのもと、どりー  
まあ利用者、ご家  
族、近隣地域他関  
係者各位など、約  
300名がご参加  
いただき、涼秋を  
楽しみました。

27年10月17日開催

遊び  
コーナー

笑顔の絶えないコーナー

## 福祉から文化へ

どリーまあでは、ホームヘルパー業務で活躍する傍らで、3つの事業所で音楽の「森永先生」もしてくれています。毎年、春には一年の成果を発揮する場として、「春らんまんコンサート」を企画しているだけに、参加されるご高齢者の方たちも、目を輝かせて音楽を楽しんでいるようです。

音楽を通して、地域の子どもたちはご高齢者の方々へ情操や情感を感じることで暮らしを、との思いで、ご自宅でも「森永音楽教室」をもたれています。



音楽療法士 森永先生がんばる！

## 音楽療法

音楽療法士

森永エミ子

Point

生活リハ

自己表現

回想

フードコーディネーターという聞きなれないポジションですが、『食』に関する重要な役割を担っております。これまで、保育士として勤めてきたり、一時期は学校給食関係で調理場の経験もあります。現在、末広と沖洲事業所での食事に関して、調理場と業者さんとの橋渡し役を担っています。ご自身としては、味付けや食事形態も含めて、清潔感ある食事のご提供を心がけているそうです。



コーディネーターさんも毎日大忙し

## 食 事

フードコーディネーター  
南浦 和美

Point

清潔感

彩り

家庭的

始めた頃は、スタッフも利用者様たちも、どことなくぎこちなさがあり、みんなが暗中模索の中でやってきました。体操メニューを変えたり、途中で紙芝居をメニューとして導入したりしてきたことが功を奏し、今では日々のリズムができ、生活の一部になっているようです。

参加されている利用者様の中には、「膝の痛みがやわらいで、歩きやすくなった。」「紙芝居が楽しみで体操にも参加するようになった。」「と言ったお声が聞こえてきたりして、やりがいもひとしおです。これからも試行錯誤しながらがんばっていききたいと思っています。



体操の合間のレクリエーションは潤滑油です

## 集団リハ

作業療法士

内藤 洋子

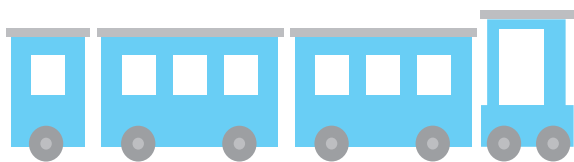
Point

交流

自律

共生





## ヘルプステーションたすけあい

意志あるところに道は開ける

訪問介護員として2年が経ちました。その間、頑張った。介護福祉士資格も取得しました。順調なこともあったり、つまづくこともあったりの連続で、在宅介護の難しさをひしひしと感じているそうです。

「信頼を得るには時間がかかるけど、失うのは一瞬と、自ら戒めて日々緊張感をもって臨んでいます。」と、

サービス提供  
責任者  
**磯崎 智史**

穏やかな性格ですが、しっかりと信念をもっています。



口腔ケアは大切なケアのひとつ！

Community

## デイサービスセンター夢ハウス

Life  
プラス

生活コーディネーター  
**中平久美子**



週1回のミーティングは大切な情報交換の場です

訪問介護員

森  
清美



食事介助も笑顔を保ちます

今までは、比較的大規模型の通所介護事業所で勤めてきました。そこでは、にぎやかさはあったが、おひとりおひとりと向き合うことがなかなかできませんでした。「夢ハウス」は小規模型なので、個々の接し方が変わりました。それだけに、私たちのケアのクオリティは求められています。日々の現場で感性を磨きながら、その人その人の願いが実現できるように、い

貼り絵などの文化活動を通して  
おひとりおひとりの内面を導きたいです



相手のペースに合わせた食事介助で安全確保

ろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

以前、夢ハウスデイサービスで勤めていたのですが、ご家族の介護のため一時休職され、この度職場復帰された森さんです。2年ぶりの現場で、今は初心に戻り新鮮に取り組んでいるそうです。2年前と変わらないのは、ご自身のモットーである「誠心誠意」の言葉。この言葉を忘れず、おひとりおひとりの生き方を尊重してかわりたいという気持ちです、と地に足をつけた取り組みがうかがえます。





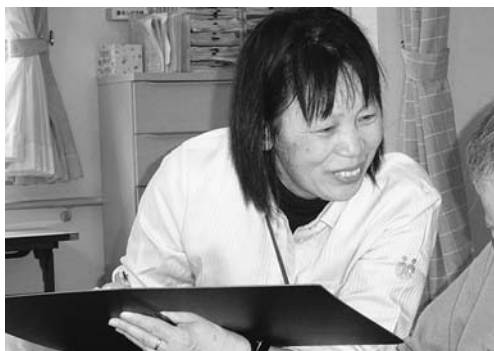
## ケア マネージャー

### どリーまあ徳島

これまで介護業務に携っていましたが、昨年度のケアマネージャーの試験で合格し、今春よりケアマネージャーとして勤めております。

ケアマネージャーとしては、新人ですが、現在の自らのケアマネ像を尋ねると、「利用者さんに寄り添うのは自分の努力でできることだけでなく、利用者さんから寄り添いを求められるよ

うなケアマネになりたいです。」と、しっかりと目標をもって取り組まれています。



日頃の悩みを聞きとる技術を勉強中！

坂本 雅子



### 影浦ゆかり



ご利用者の声に耳を傾ける

デイサービスとグループホームの介護の経験をもって、ケアマネを取得しました。

これまでケアマネとしては、在宅高齢者を受け持ってきましたが、現在は主に、高齢者住宅で暮らす人達を担当しています。多職種連携が求められる中、日々連携できるマネジメントをしていくことが重要という意味では、在宅も高齢者住宅も同じだと思って取り組んでおられます。

## 総務だより

### 救援金活動ご協力の御礼

救援金募金額30万円  
集まりました。

この度、熊本地震に対して、「どリーまあ熊本地震救援金プロジェクト」にて募金のご協力をお願いしたところ、皆様から多大なご協力をいただきましてありがとうございます。

集まったお金は、日本赤十字社徳島支部を通して、ご寄附させていただきますので、紙面を通して、ご報告とお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

今年4月から、正式に事務局へ就職させていただきますが、NPO事務局での仕事は初めてです。膨大な情報が集まる部署だけに、ひとつのミスが現場にも影響することも多々あるだけに、緊張の連続ですが、現場の人たちから時々「フォローしてくれてありがとう。」と言ってもらえると、喜びややりがいを感じます。

まだまだ修行の身ですが、日々勉強しながら頑張りますので、よろしく願います。

### 信 頼

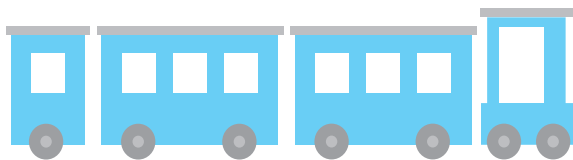


事務局業務に日々奮闘

田中 達也

これまで、薬草を栽培や加工したりする研究事業に取り組み、その傍らで、

デイサービスの送迎ドライバーでお手伝いさせていただいてきました。



## どリーまあ訪問看護ステーション



看護師&ケアマネ合同  
カンファレンス風景

### 頼られる医療職

## 献身

小児看護でかわり始めて驚いた

きつかけです。

務でしたが、出産で一時期現場から離れ、復帰する際に、子どもさんの看護がやりたくて、どリーまあの門をたたいたのが

### 高橋 憲恵 (看護師)

どリーまあ訪問看護ステーションで10年目に入るベテラン看護師です。

最初は病院勤務

10年前はほとんど情報もなく、どちらかというと閉ざされた世界でしたが、今はオープンになり、保護者のネットワークもできたりしています。これからは、子どもさんたちの成長を楽しみに、がんばりたいのとことで、信念ある姿勢は他の模範とする彼女です。

中には、かわった頃の子どもさんが最近20歳になり、成人式に呼ばれたらしく、感無量だったそうです。

ことは、どの保護者の方も、子どもを育てる姿勢と情熱がすばらしく、自分の子育てへの刺激にもなったそうです。

### 輝く瞳に勇気をいただく



小さな命と真剣に向き合う

## 児童サービス



## どリーむキッズ

### 「口腔ケア」に たくさんの気づき

年間4回開催予定の、「キッズ家族会」です。ご家族同士で集まる度に、新しい発見や学びがある、と好評をいただいています。また、普段考えていることを、言葉として伝える事で、自分の中で気づいていなかった新しい事に気づいたり、情報交換できたりするので、効果抜群みたいです。



保護者の情熱に感謝

### 命



### 毎年のクリスマス会は 一年の節目です

出かけられなかったのですが、キッズでプール遊びを始めるようになってから、「自分の子どももの水着を買う喜びに感動です。」とご家族から言ってもらえました。

### 「プール遊び」に 希望の光

### 希望

毎年、子供たちの成長が目みえてわかる現実、喜びを感じながら運営しています。ひとつのことができる度に、「こんな事ができるようになったんやなあ!」と、感動の瞬間です。



かわいい水着に注目してネ♡

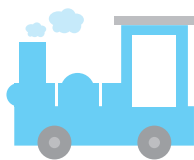
昨年から初夏からプール遊びを始めました。重度障がいがあるだけに、海水浴などには





## サービス付き 高齢者向け住宅 レスポワール

### 住まい



## 沖洲発

## 対話の日



ご入居者様の声に耳を傾ける大切な時間

ます。

毎月1回、ご利用者さまのご要望やご意見をいただいたり、医療や福祉についての情報をお知らせしたりする、「対話の日」企画です。

毎月テーマを決めて話し合っています。特に「食事について」の月は参加者も多く、内容也多岐にわたります。

また、業務委託している「ふくなが」さんから参加される管理栄養士さんにも一緒に意見を聞いていただいたりしています。

開設して早や4年目に入りました。ご利用者やご家族の方たち、また地域の皆様から支えていただいていた賜物です。これからも、常に学ぶ姿勢を見失わずに、前進してまいります。

ここ最近の運営状況をご紹介します。

## 家族会

入居者ご家族との意見交換する日を、年2回設けています。普段離れて過ごされているだけに、いろいろな心配事も尽きないようです。

会を通して、説明したり、話し合ったりするだけでも、安心に結びつく、と言ってもらっています。



### 絆



ご家族様たちは大切なパートナーです

## Community

## 寄りそい

## デイサービスセンター夢ガーデン

## ボランティア訪問



エネルギッシュな歌にパワーいただく

毎年の季節行事として、ボランティア訪問を募り、ご利用者に楽しんでいただいております。

中には、ボランティア方とご入居者さんとの知り合いがいる時もあり、和気あ

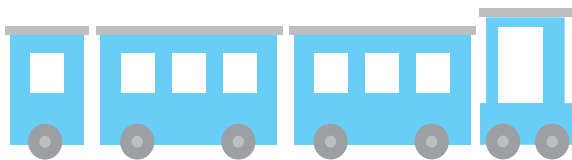
いあいとした雰囲気を楽しんでおります。

内容は、歌や踊り、朗読、紙芝居など、日常でない文化的活動を通して、心のケアにも結び付けたいと考えています。



本格的舞踊に感動





## 祝 百寿 小原 美代さん

開設して3年目を迎える、「川内事業所」の状況をご報告いたします。

これからの『サ高住』には、ご入居様のお世話だけにとどまらず、近隣地域での福祉の拠点となれることが求められます。

現在の現場の様子をご紹介します。

12月3日をもって、100歳を迎えられた小原様です。当日は、徳島県からは知事代理が、徳島市からは市長代理の方が、お祝いに駆けつけ



施設入居者全員で祝う

長年、小学校教師として教育に携ってこられた誇りが元気の源です

「日々努力の積み重ねが原点」

食事は毎日完食

て下さりました。

小原様は、小学校の教師として長年多くの子どもたちの教育に携わっておいでました。

途中、戦争体験があり、戦後に先のみえない時代の中、教師として子どもたちを励まし勇気づけながら教鞭をとってきたことは、今でも誇りに思っているそうです。

他のご入居者様だけでなく、スタッフたちも、小原さんにあやかっ、『努力』の大切さを学ばせていただいております。



県担当者からのお祝いに喜ばれる

## 暮らしの笑顔



伝統芸能に触れるひととき

十郎兵衛座  
による公演

の交流は、とても大切な時間です。

9月22日、徳島県ゆかりの阿波

3ヶ月毎の計画で取り組む企画として、ボランティア訪問があります。

地域でいろいろな活動をされていらっしゃる方々

ハンドベル演奏風景

芸能文化に触れる

人形浄瑠璃公演に、十郎兵衛座の皆様にお越しいただきました。

また、12月20日には徳島文理

大学「Bunri ハンドベル クワイヤ」

サークルの方たちによるハンドベル演奏にクリスマス気分満載のひとときが過ごせました。

こうして文化芸能に触れ、感性を磨き、感動の時間をもつことで、元氣と勇気を与えてもらえたようです。



ハンドベルの音色が心に響く



## 人財

川内事業所で活躍のスタッフのご紹介コーナーです。  
経験組もいれば、福祉職として初心者の人もいたり、百花繚乱、なかなか楽しいチームに育っています。

ひとり一人が与えられた役割だけでなく、自主的に自己実現できるような、明るい職場づくりを目指しています、と地に足をつけた仕事ぶりは、名実ともにリーダー的存在です。

「今の最大の敵は『慣れ』です。『すねえ!』と、しっかりと先を見据えた姿勢は、たくましさを感じます。」



現場の記録はケアの集積です

デイサービスセンター夢ファミリー  
生活指導員 木内加代子



食事ケアしながらも対話を絶やさない

介護福祉士 森 敬子

深夜や早朝の勤務でも、日中と同じようにご入居者さんと声かけてコミュニケーションを深めるかわりをしなければならぬと心得ているようです。ますます磨きがかかりそうです。

話の大切さを学びます。」と、あくまでも謙虚に取り組まれています。

治療の場での介護から、生活の場でのケアへと変わり、「対

医療機関で介護職として勤めていただけに、観察力、迅速な対応は信頼につながっています。

実務者研修 町野 萌

どリーまあで介護実習を受けられ、そのまま就職された人財です。

「ご入居者さんたちはみなさんご年配の方ばかりで、自分とは全く違う時代背景を生きて抜いてこられた方たちだと思い、今はご不自由でも、常に尊厳の念を忘れないようにしている。」とのこと。

講義で習ったことと、実践とは違うと覚悟はしていただだけに、ひとつひとつのケアに誠実に、

は違うと覚悟はしていただだけに、ひとつひとつのケアに誠実に、

## 新人研修

「どリーまあ」入社6ヵ月以内の職員を対象に新人研修を年2回開催しております。

ここでは、医療介護の専門的研修から少し離れて、「NPO活動の基本」や「認知症の特徴」、「高齢者の特性」、「どリーまあの目指す方向性」などについて、理事長が講義をいたします。

未来のどリーまあを

## 新しい風



理事長からの法人理念に  
耳を傾ける職員たち



環境整備は安全確保の一環です

に取り組まれる姿勢は、他のスタッフたちに「初心」を教えてくれているようです。

担っていただく期待を込めて、心に灯をともし講義です。

## 《平成28年度 研修日程》

| 研修月 | 内 容              | 研修月 | 内 容                        |
|-----|------------------|-----|----------------------------|
| 4 月 | 職業倫理と法令遵守        | 10月 | 感染症疾患の基礎知識                 |
| 5 月 | お薬の基礎知識          | 11月 | 緊急時対応<br>～備えがカギ～           |
| 6 月 | 認知症ケアの基本         | 12月 | 症例検討会<br>(ターミナルケア)         |
| 7 月 | 医療・福祉職の<br>接遇マナー | 1 月 | 医療セミナー<br>～循環器疾患のいろは～      |
| 8 月 |                  | 2 月 | 症例検討会<br>(医療ニーズの高い利用者へのケア) |
| 9 月 |                  | 3 月 | リスクマネジメントの基本               |

## 平成28年度 委員会構成

◎委員長 ○副委員長

|               | 末広事業所 |     |      |      | 沖洲事業所      |      |      | 川内事業所       |
|---------------|-------|-----|------|------|------------|------|------|-------------|
|               | 介 護   | デ イ | 居 宅  | 事 務  | 介護デイ       | 看 護  | 児童デイ | 介護デイ        |
| 安 全 衛 生 委 員 会 | 久 米   | 小 笠 | 坂 本  | 松 本  | 桶 川<br>坂 野 | ○阿 部 | 豊 原  | ◎犬 伏<br>濱 田 |
| 研 修 委 員 会     | ○磯 崎  | 新 居 | ◎影 浦 | 山 口  | 吉 崎<br>勝 浦 | 斎 藤  |      | 松 本<br>長 濱  |
| 環 境 改 善 委 員 会 | ○島 村  | 明 学 | ◎岸 野 | 臼 杵  | 苛 原<br>岡   | 桑 内  | 麻 野  | 長 坂<br>森    |
| 物 品 管 理 委 員 会 |       | 川 上 | 福 島  | ◎田 邊 | ○白 川       | 兒 島  | 福 居  | 先 田<br>鍛 冶  |
| サービス向上委員会     | ○齋 藤  | 中 平 | 遠 藤  | ◎田 中 | 福 本        | 佐 埜  |      | 木 内<br>井 内  |
| コンプライアンス委員会   | ◎楠 本  | 西 岡 | 山 口  | 棚 野  | 岡 田<br>桑 原 | 内 藤  | ○高 橋 | 杉 本<br>青 木  |

## 寄 附 感 謝

関係者の方からご寄贈・ご寄附をいただきました。紙面を通してご報告並びに感謝申し上げます。

・小原美代様・塩江圭子様・野上正勝様